

平成29年度 第2回 静岡市多文化共生懇話会 会議録

1 日 時 2017年10月18日(水) 19:00～20:30

2 場 所 静岡市国際交流協会 1階 第2会議室

3 出席者 多文化共生懇話会委員12名  
小林 タバサ、全 高香、スリヤ佐野 ヨハンナ 雪恵、高畑 幸、  
ニアズ アハメド、ヒュン ソー ヴァン、福井 ユミ、ホリウチ アリッセ イズミ、  
楊 移苗、吉野 恵津子、李 栄元、レ ティ マイ ゴック

事務局、静岡市国際交流協会

4 傍聴者 なし

5 次第 (1)開会

(2)意見交換

議題: 静岡市多文化共生推進計画「ともに生きる」に関わる事業について

(3)閉会

6 意見交換内容

○ホリウチ会長

前回いただいた資料の「ともに生きる」について、ご意見を一人2～3分でお話してください。そのあと、手を挙げていただきます。今日は時計まわりでお願いします。

○ゴック委員

外国人が多くなっているので、交流的な活動が増やせたらいいと思います。具体的には、毎週文化交流会や、自国の料理や伝統的な歌を日本に紹介できるような機会。

外国人の一番困る問題は、日本語。日本語を教える場所や日本語を教えられる人がいると助かります。

○ホリウチ会長

ありがとうございます。次は李委員、お願いします。

○李委員

日本生まれの日本育ちなので、言葉についてはあまり困ったことはありません。自分の親や

祖父母は、やはり言葉の問題でコミュニケーションが図れず大変でした。日本語を生活で使えるような水準で、生活の中で学べる仕組みがあれば、より身近に勉強できるようになればいいなど思います。文化や食、音楽は親しみやすいので、お互いによく知り、体験できる機会もあるといいと思います。入りやすい、生活に密着したもので行えればいいなど思います。

#### ○ホリウチ会長

ありがとうございます。次は吉野委員、お願いします。

#### ○吉野委員

自分のところへ通っている日本語学習者が、防災についてほとんど認知していません。地域の防災訓練(12月1日)がどこでやっているかわからない人が多い。自治会に入って活動している人もいますが、研修生等は3年で帰ってしまうので自治会には入らない。例え3年でもその間に災害が起こる可能性もあるので、企業からきちんと教えていただきたい。国際交流協会から、研修生を沢山受け入れている企業に働きかけをしてもらいたいです。

今年は清水港に豪華客船がたくさん来ていて、来年はさらに増えると聞いていますが、お客さんが船から降りて、迷っている。着付け等をやっているロビーまでたどり着けない。下船する前に、エージェントが清水港のイベント情報や観光地の案内を出してもらえないでしょうか。先日新聞に、国際交流協会がボランティアを養成しているという記事が載っていましたが、もっと必要という気もしています。来年さらに寄港が増えるらしいので、通訳ボランティアの数の不足や、おもてなしをしようと待っていても(お客さんがロビーへたどり着けないために)あまり来てもらえない等の問題をうまくやれないかな、と思います。

#### ○ホリウチ会長

ありがとうございます。楊委員、お願いします。

#### ○楊委員

子育ての関係で市役所に相談に行きましたが、外国人と日本人で考え方が違うし、言葉のニュアンス等色々な壁があると思います。できるだけ市役所の窓口には外国人職員がいたほうが心強いかなと思います。

#### ○ホリウチ会長

ありがとうございます。ヒュン委員、お願いします。

#### ○ヒュン委員

日本に来たばかりの女子留学生は、日本はすごく安全な国で、皆丁寧に挨拶してくれるというよいイメージをもっています。しかしいつも安全という訳ではありません。日本人女性は防犯ブザー等を持っていますが、女子留学生はそういうことを知らない。実際に問題も起こっています。例えば、

不審者に声をかけられてしまったとか、留学生の方は、東南アジアの考え方にもとづいて目上の方から話しかけられたら丁寧に接しますが、その人が何を目的に話しかけたのか、実際は分かりません。女子留学生に危機意識を高めて欲しいです。

#### ○ホリウチ会長

ありがとうございます。ニアズ委員、お願いします。

#### ○ニアズ委員

先月、外国人が市営住宅に申し込みました。市営住宅に入れるのは、他に部屋が空いていても二人だけ。その二人が入らなかったとしても、待っている外国人には回ってきません。また何か月後かに募集をする。市はもったいないことをしていると思います。また、入れなかった外国人は、子どもの支援等色々な問題を抱えていて市営住宅に申し込んでいますが、そういった話は聞いてくれません。二人が入らなかったときは、3番目の人に声をかける等して欲しいです。そういう問題を解決しないと、静岡に外国人が来ても、結局他へ流れてしまう。ポイントがたまるという、知り合いが6回くらい応募し、4回2番以内に入ったが、ポイントがどこで使われているか分からず横浜へ行ってしまった。そういう問題も挙げて欲しいです。

#### ○ホリウチ会長

ありがとうございます。高畑委員、お願いします。

#### ○高畑委員

市からの情報伝達、生活情報の伝達手段について。技能実習生が増えています。そういった人達は企業を通じて日本へ来ているので、企業へ生活情報を流すルート強化したらどうでしょうか。結婚し個人で日本へ来て暮らしている人は、数としては減っています。技能実習や、会社に雇われている人達、日本語学校といった、間に団体や企業を挟んで個人が来日しているの、そういった企業や学校等を市からの情報を流す拠点にして、そこから個人に流してもら。その方が情報の流し方として効率的なのではないでしょうか。

#### ○ホリウチ会長

ありがとうございます。スリヤ佐野委員、お願いします。

#### ○スリヤ佐野委員

47番の外国語版「子ども医療費助成制度の案内」の作成・配付に「未実施」とあるのが気になります。

自分は李委員と同じ日本生まれ日本育ちで、ほとんど日本に住んでいます。その中で、日本人には「島国意識」があり、英語圏に対する日本語に対する、また外国人全般に対するコンプレックスがあり、それがコミュニケーションを妨げているように感じています。また、「外国人はこうだ」といっ

た思い込みもあるように思います。

次に「やさしい日本語」について。区役所や色んなところで「やさしい日本語」に出会いますが、簡単な日本語ではあるが丁寧ではないことがあります。例えば、ただ「これ書いて」とだけいわれ、「ください」が付いていないとか。やさしい＝シンプルというだけではない。外国人に対しても丁寧に言っていたきたいです。日本語を勉強している途中であったとしても、敬語で丁寧にお話をして欲しいと感じます。それを通して外国人も敬語を覚えていくと思います。

子ども達が学校に行っている中で一番苦労しているのが、日本語が書けないということ。学校の先生から縦書き・手書きの連絡帳で連絡がきます。私は日本で生まれ育ちましたが、日本語を書くのは難しい。メールやラインで先生とコミュニケーションがとれるようにしないと、外国人の保護者はものすごく大変。皆さんがどうやって先生とコミュニケーションをとっているのかなとすごく思います。

最後に、外国人には投票権がないのがすごく悲しい。自分の国を長く離れていると、自分の国でも投票できません。私は国籍を2つ持っているけれど、どこにも投票できない。日本には永住権をもった外国人が30%もいます。これは大きな問題だと思います。

○ホリウチ会長

ありがとうございます。全委員、お願いします。

○全委員

学校教育の現場に関することで意見を提案したいと思います。外国人の子どもが通う学校へ国際交流協会に直接足を運んでもらい、子ども自身のことを知ってもらうため、その子どもの国の紹介などをさせていただくと、子どもにとって励みになると思います。自分の子どもの体験ですが、小学校1年生の時、帰ってくるなり「友達に殴られた」と言ってきたことがありました。事情を尋ねてみると、本名で通っていたので友達から名前を聞かれ、自分は韓国人なのだと話をした。「じゃあ韓国語を話せるか」といわれ、実際に話してみたら途端に殴られたと。今考えてみると、たった二人だけだったので怖かったのかなと。二人だけで、恐らく相手の子は初めて韓国語を聞いて、怖くなってポンッと殴って去って行ったのではないかな。そういうことがあり、知らないってこういうことなのだ、知らないことは恐怖につながるのだと思いました。何も知らない状況では、子どもの感情はむき出し。相手の子も無意識の内にやってしまったのだと思います。何かそこに情報があれば、外国人の子どもにとっても大きな力になるのではないのでしょうか。多文化共生の視点で色々な異文化コミュニケーションが行われていますが、外で行われているため、私も子どもも実際に外国人と接することがありません。でも学校には何人か必ず外国籍の子どもがいます。教育現場まで一歩入っていただき、何かフォローをしていただく形があるといいのではないかと思います。

○ホリウチ会長

ありがとうございます。小林委員、お願いします。

## ○小林委員

日本に来て7年目のスリランカ人留学生の知り合いが、深夜にコンビニでバイトをしています。深夜3時くらいまで仕事をし、帰ろうとすると、警察に職務質問をされるそうです。それは時間も時間もよくあることなのかもしれませんが、それが2か月に1回くらいのペースで同じ場所・時間に行われるので、見張られているのではないかと心配しています。さらに、身分証の提示と在留資格についての質問だけでなく、荷物の中身を見せるように指示されています。それは法的にはしてはいけないことのはずなのに、断ることもできず、毎回素直に応じているそうです。そのせいで、日本での留学が嫌な気分になると言っています。他の留学生に聞いてみると、白人の留学生には全くそんな経験はありませんでしたが、インドやスリランカといった国の出身者にはよくあることが分かりました。聞いた話ではありますが、それが気になっています。

また、留学生にはバイトをしている人が多く、携帯電話の販売が流行っています。時給が1,800円～2,500円くらいと高い。ショップ定員をするわけではなく、無理やり他社からの乗り換えを勧めるようなものです。マニュアルを見せてもらったことがあるのですが、詐欺なのではと思うくらいやり方が汚い内容でした。学内でも同級生に勧誘していて、明らかに普通ではないやり方。日本人なら異常性に気が付くはずですが、留学生だから気づかず、給料のためにやっているようで心配しています。

## ○ホリウチ会長

ありがとうございます。では、福井副会長、お願いします。

## ○福井副会長

健康問題について。仕事をしていても健康保険を持ってない人がまだいます。外国人の人達は健康についてどう思っているのかな、健康診断を必要と思っていないのかな、と思っているところです。

## ○ホリウチ会長

ありがとうございました。一周しましたので、私からも意見を述べさせていただきます。前回発表ができなかったので、前回の話に加えて2点、発表させていただきます。

最初にハラールについて。私の知り合いにはインド教徒なども多く、私が教えている大学にもムスリムの学生がいます。ハラール料理のことを聞かれることがあります。1年生に大学内で「お祈りができる場所がありますか」と聞かれたことがあり、その時は空き教室を案内しました。

それから、ブラジル人の知り合いには意外とベジタリアンが多い。市内のベジタリアン専門の店をよく聞かれます。ハラール料理店、ベジタリアン専門店、ファミリーレストランでも魚介料理や肉の入らない料理、サラダなど、メニューに英語などの外国語表記で紹介があればいいかなと思います。ニアズさんも前回言っていましたが、特に観光地には必要。お店などの情報発信を増やして提供できればいいなと思います。

2点目は、私には静岡生まれ・静岡育ちの二人の子どもがいますが、保育園落ちや学童に入れ

られなかったつらい経験があります。もっと待機児童の問題に力を入れてほしい。子どもはもう高校生ですが、10年たってもこの問題は解決していない。特に私たち外国人は、プラス外国人であること、プラス女性であることで壁がある。そこが気になる点です。

推進計画の1-①-(1)「外国人住民が情報を確実に理解するための取組み」についてですが、3番の広報誌や11番の外国語版「国民健康保険概要」の16番の介護保険制度の外国語版パンフレットなど、この表では配布先がわかりづらい。スペースがないからかもしれないが、もう少し具体的に書いてほしいです。

昨年ブラジルから静岡市に引っ越してきた一家がいて、学校からくる日本語の手紙や保険への加入など、どこへ相談したらいいのかと聞かれました。その時は SAME を紹介して、「SAME って何？」と聞かれ、SAME についても色々教えてあげました。その時疑問に思ったのですが、外国人登録をする時、まず区役所へ行くはず。そこに色々な外国語の情報が置いてあるはずなのに、窓口で気が付かなかったのか。配布先に問題があるのか、置く場所がわかりにくかったのか・・・外国語の情報誌の配置がわかりづらいのかな、と思います。

次に1-②-(1)「自立支援のための多言語による生活相談の充実」についてですが、36の外国人のための無料健康相談と健診会内「保健相談コーナー」は私も20年近く通訳ボランティアをやっておりまして、毎回年金課の職員が来てくれて、その場で疑問が解決することが数多くありました。大変助かっています。

次は1-②-(2)「生活の課題解決を支援する取組み」の39番、外国人高齢者福祉手当の支給に関して。22名支給とあります。今私は、ブラジル人女性に関して調査研究を進めているところですが、ブラジル人コミュニティは高齢化が進んでいます。静岡市に8,000人の外国人がいると思いますが、実際の市の施策の認知度は高くないのではないのでしょうか。市は外国人高齢者の人数を把握しているのか、この福祉手当をどのくらい必要と見積もっているのかを聞きたいです。

同じように40番、外国人障害者福祉手当の支給もどうなのでしょう。申請者無し、となっていますが、どのくらい実態を把握しているのか、疑問に思うところです。

先ほどスリヤ佐野委員からもあったが、47番の「子ども医療費助成制度の案内作成未実施」は私も気になりました。他市では病院代無料・薬は容器代のみというのが多いです。子どもが小さいうちは毎週病院に連れて行って、医療費がかかります。静岡市は、他市と比べると遅れていませんか？私はブラジル人学校で週一回ボランティアで教えていますが、こういう助成制度があるのに、外国人の子どもたちも親もみんな困っている。ちゃんと食事もできてない人もいるので、子ども医療費助成制度などはありがたい(外国語版案内がないという意味がない)。必要などどころに行き届いていない、と強く感じます。

○全委員

実際、外国人の子ども達に助成制度が実施されてないんですか？

○ホリウチ会長

いや、案内が行き届いてないということ。

○福井副会長

でもみんな持っていますよね、あのカード。あれは普通に、お子さん生まれて保険の手続きしたら、同時につくものだから、みなさん持っていますよね。使い方がわからないということですか？

○ホリウチ会長

そう、使い方がわかってない。

○福井副会長

でも、病院にかかった時に一緒に出すだけだから。

○ニアズ委員

子どもが生まれたとき、保健センターの人が家庭訪問して、健診のついでに使い方を教えてくれるんですよ。日本語がわからない人だと、国ごとにまとめて呼ばれて通訳付きで説明されることもある。私もバングラデシュの留学生が来たときに呼ばれていったことがある。もちろん SAME を通してです。

○福井副会長

病院にかかった時も、「子ども医療費支給者証持っていますか？」と大体聞かれる。持っていないかったら、「市役所に問い合わせてくださいね」って必ず言われますよね。

○ホリウチ会長

他に何かありましたら、手を挙げてください。

○ニアズ委員

「子ども医療費助成制度」は救急だと使えない。病院によっては、こども病院は夜中1時くらいにかかると9,000円出さなきゃならない。夜7時、8時でもう救急になってしまう。時間が制限されているから。でも病気は時間に関係なく、になってしまう。

○福井副会長

時間制限があるんですか？

○ニアズ委員

朝まで待つか、子どもに我慢させるか。そんな感じになってしまう。

○全委員

一度払って後から返ってきますよね。手続きの問題ですか？それがわからないんですね。

○ニアズ委員

あとで戻してもらって手続きが理解できてない。あとは病院へ行くときに、お金が必要。その時は一度お金払わなきゃならない。「あとでいいですよ」と言われる場合もあるけど。

○スリヤ佐野委員

47番の「子ども医療費助成制度の案内」外国語版はなぜ作成されていないのか疑問ですよね。ほかのものは結構作っているのに、なぜこれは作らないんだろう。どうして必要ないと判断されたのでしょうか。

○ニアズ委員

外国人の立場からは作ってくれ、とは要求しないですよ。

○全委員

行き届いているからじゃないかな、と私は思うんですけど。

○ニアズ委員

ここで問題として、あげていかないと。

○高畑委員

この懇話会で要求しないと、いつまでたってもできないと思いますよ。

○ホリウチ会長

予定はあるのでしょうか。事務局、今の段階ではどうでしょう。

○事務局/伊藤

担当課に確認しないと正確なお答えはできませんが、27年度は増刷しない、という意味も考えられます。この年は在庫があるから実施しない、と。

○吉野委員

40番の「外国人障害者福祉手当」、申請者なしとありますが、私の知り合いにもらっている人がいます。周りの日本人から「あの人は本当は働けるはずなのに、もらっていておかしい」と苦情が出ています。役所の人が訪問すると、家の中に絶対に入れずにドア越し対応。家の中にはいろいろものがそろっていて、豊かな生活をしているらしい、と近所の人は思っているみたい。ゼロとあるからおかしいな、と思ったのですが。



○高畑委員

障害年金がもらえない人に対して、市から年金がない分をカバーするためのものが福祉手当ではないでしょうか。これ以外にもともと年金に入っていて、障害年金もらっている人はもっと思えます。

○吉野委員

ではそれをもらっているということ？

○福井副会長

でも若い人だよな。

○李委員

対象者がよくわからないですよな。障がい者だけなのか、仕事をしてない人なのか、収入がない人なのか？

○ニアズ委員

色々あるからね。日本人でも、バリバリ働いていても、もらっている人もいるし。

○ホリウチ会長

他には、今日は、ピンクのところ(推進計画関連事業一覧の1「ともに生きる」)で何か気になるところはありますか？

○ゴック委員

34番「外国人住民のための生活相談体制の充実」ですが、2017年は、ブラジル語やベトナム語に対応はできていますか？

○ホリウチ会長

ブラジルはポルトガル語ですよな。

○高畑委員

ベトナム語はないですよな。

○福井副会長

国際交流協会でもいません。

○ニアズ委員

SAME だったら特別対応しますよね。

○ホリウチ会長

事務局に伺いたいのですが、ベトナムから相談があった場合は、受付はどうしますか？

○望月/事務局

各区役所窓口から連絡があった場合。窓口にはわからない言語の人がきたら、通訳を探して紹介します。県の方や、SAMEを通したり、うちで探したりして確認します。その方と時間があうような形で、調整をしてやっています。

○ホリウチ会長

ありがとうございます。他には何かありませんか？

○小林委員

34番の生活相談など、そういうボランティアでお手伝いをしてみたいのですが可能ですか？  
私が相談員になるにはどうしたらいいですか？

○石黒/SAME

タバサさんは何語ができますか？

○小林委員

日本語、英語、大学でドイツ語を専攻、韓国語はトピックの中級、簡単なロシア語も。

○石黒/SAME

34番の相談員は平日の決まった時間に来ていただくので、学生さんは難しいかと思います。  
人材バンクという制度がありまして、登録すると、通訳やガイドが必要になった時に連絡が行きます。

あとは、36番の外国人の無料健康相談会でも時々通訳のボランティアを募集しています。そちらに登録するのも一つの手です。

○ホリウチ会長

防災について、事務局の方、教えてください。

○事務局/望月

SAME を通して防災の日、2月、3月に防災セミナーをやっています。町内会の訓練や外国人向けセミナーも参加者が少ない。各団体にも案内をしているが、参加者が伸びません。

国際交流協会が多言語支援センターを開設するので、参加しにくいのであれば、参加しやすくなる方法を考えなければなりません。何かあれば教えていただきたいと思います。実際の状況を国際交流協会から紹介します。

#### ○SAME/石黒

通知が難しい状況です。3月の防災セミナーでは、市内の外国人のグループ、日本語学習者に直接声掛けして見ましたが、外国人参加者は12名。その他に、日本語を外国人に教えている日本人と一緒にきました。外国人に告知することも大事ですが、日本人で外国人支援をしたいと思っている人にも声をかけて、外国人の方に防災のことを知ってもらおうことの大切さを知ってもらおうようにしています。

多言語支援センターというのは、ある程度日本語能力があり、日本の事や母国の事を知っている方に実際災害があった時に協力してもらい、避難所にいる外国人の様子を見て回るようにしてもらうものです。2月のシュミレーションの参加者は18名。日本人半分、外国人半分くらいの参加で、両者の協力が必須です。人数の確保、新規参加者の発掘が難しい状況です。もし何かいいアイデアがあれば教えていただきたいと思います。実際に警察などは、日本語学校を回っていると聞いています。

#### ○福井副会長

2年前に町内会の会長だったとき、地域に声をかけて、外国人をみんなに連れてきてもらいました。その時に、東日本大震災の時に外国人が避難所に入れなかった話などをさせてもらいました。もし避難所に自分の知り合いが一人でもいたら、安心するということもあるから、隣近所の支え合いが大事。どのくらいの外国人がいるのか地域で把握し、防災訓練にも一緒に参加しようと声掛けをしたら、多くの外国人が集まってくれました。子ども会や婦人部などで外国人と繋がりをもととしています。色々な町内でもやっていただきたいと思います。

外国人は地図の見方がわからないので、実際に足で歩いて、避難所等を確認してもらいました。炊き出しも一緒にやり、大変いい経験になったようです。地域の行事には引き続き、外国人には強引にでも参加を呼びかけています。

#### ○ニアズ委員

災害情報メール(携帯にくる緊急メール)は日本語のみなので、英語だけでもあれば助かるのですが。

#### ○福井委員

NHK がありますね。

#### ○SAME/石黒

国はやっていますね。探せばいくつかあると思うので、そういう情報もご案内できればいいで

すね。

○高畑委員

外国人の集まっているところへ行って、その場で強制的にアプリをダウンロードさせればいいのかでは。

○ニアズ委員

国際ことば学院では先生から生徒にメール配信しています。緊急メールに駿河区と書いてあっても、どこのことを言っているのかわからないから不安になります。

○高畑委員

日本生まれの日本育ちの人と、留学生と、それ以外の方とでは見る視点が違うので、班分けをして意見を集約するのもいいかな、と。選挙権の話から生活情報の話まで、話がばらけている気がする。

○ホリウチ会長

今回はテーマに沿って、班に分けてやりたい、と考えていたところです。ただ班分けをどうしようかと悩んでいました。貴重なご意見をありがとうございます。

今回は12月20日(水)に開催します。